

私たちは「戦争法（安保法制）」の廃止を叫び続けます。

—戦後 70 年の立憲主義・民主主義・平和主義を堅持して—

「戦争法案」は全国に響き渡る広汎な国民の反対の声を無視して強行採決されました。

だが私たちは挫折感もなければ、敗北感もありません。

戦後 70 年の立憲主義・民主主義・平和主義以外に、生きる道はないことを、私たちは知っているからです。

その道は、「戦争法廃止」と「安倍政権打倒」の声と運動を、日本の隅々にまで押し広げる、そのことによって実現されることを、私たちは知っているからです。

その道は、「戦争法廃止」を求めるすべての政党・会派の大同団結によって、切り開かれることを、また私たちは知っているからです。

さあ、正義は私たちにあることを確信して、声を挙げ、ビラをまき、メールを打ち、デモをやろう。

「戦争法」の廃止の日まで。

2015 年 9 月 24 日

非核の政府を求める京都の会
常任世話人代表 望田 幸男